

2025（令和7）年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ

12月レポート「冬休み！」

令和7年度奨学生 田中碧

◦ テスト期間

みなさま、こんにちは。フィンドレー大学では、12月に入りフォールセメスターがあつという間に終わりへと近づいていきました。序盤の一週間は期末テスト期間です。テストの形式は授業により異なりますが、日本と変わらず授業内容の丁寧な復習が必要です。ですが、ほとんどの授業では学期中盤にも1～2回の中間テストを行っているので、テストにも慣れてきて無事終えることができました。テスト週間の初日には、夜9時から無料でポテトやスイーツをゲットすることができる、“Late Night Munchies”というイベントが行われました。学校をあげて、息抜きをしつつ勉強を頑張ろうという雰囲気ができていることが素敵だと感じました。



◦ ニューヨーク観光

12/12からは、フォールセメスターが終わりいよいよ冬休みに入りました。私は日本人3人と現地生1人で3泊4日のニューヨーク旅行に行きました。ニューヨーク州は決してオハイオから近くありませんが、私たちは飛行機でなく車で向かい、アメリカの車社会を改めて感じました。片道9時間ほどの旅路を運転してくれた現地生の友人にはとても感謝しています。



ニューヨークシティでは、定番のタイムズスクエアを含む様々な場所を訪れました。クリスマスが近かったため、街のあらゆるところに巨大なツリーがありました。また、オハイオには鉄道が少ないので、3か月ぶりの電車を体験し不思議な気持ちでした。慣れない土地での乗り換えは難しく、夜の非常に寒い時間帯に電車を乗り間違え、小さな駅で凍えそうになりながら次の電車を待つというハプニングもありました。振り返れば貴重な思い出です。



印象的だったスポットは夜のブルックリン橋です。こちらは駅から離れた距離にあったため、やはり寒さに震えながら行ったのですが、到着し見ることのできた景色は本当にきれいででした。また、私は踊ることが好きなため、ニューヨークシティにある有名なダンススタジオのレッスンも受けに行きました。エンターテインメントに富んだ地ならではの体験ができとても良かったです。



冬休み序盤から忘れられない思い出を作ることができました。

◦アメリカのクリスマス

冬休みは3週間ほどありますが、ほとんどの生徒は帰省をするため原則寮やハウスは閉じられます。(私のように帰省しない生徒は、申告すればキャンパスに残ることができます。) かなり寂しい冬休みになるのではと思っていたが、クリスマスにはフィンドレー市内の友人のお宅で、クリスマスディナーに参加させてもらうことができました。私やほかの日本人留学生のためにプレゼントもくださり、とても心温まる時間を過ごすことができました。アメリカでは家族ぐるみの集まりにも私たちのような人たちを気軽に招待してくれ、歓迎してくれます。みんなでホリデーを楽しもうというアメリカの家庭の雰囲気がとても好きだなと思いました。



◦年末

現地生だけでなく、4年間フィンドレーに在籍する留学生たちも母国へ帰省するため、冬休み中は日本人の友人たちと多くの時間を過ごしました。とある日には留学生向けの授業の担当教授が私たちをデトロイトの美術館へ連れて行ってくださったり、他の日にはシンシナティにアメリカンfootball観戦へ行ったりと、想像以上に盛りだくさんな内容の冬休みになりました。大みそかにはみんなで日本食を作って食べるなどし、とても安心感がありました。この数か月外国での生活を共に頑張ってきた友人たちと過ごす時間も、留学しなければ味わうことのできなかつた体験の一つだと感じます。



年が明け、1月2週目からは新学期が始まります。冬休み中に充電したエネルギーを全力で使って、残り半分も悔いの残らないような生活を送っていきたいです。



本プログラムやフィンドレーでの生活に関して何か気になることがございましたら、tanakam1@findlay.eduまでお気軽にご連絡ください。少しでも皆様のお力になることができれば幸いです。